

「マルチステークホルダー方針」

当社は、企業理念の「使命」として掲げる「最高の品質で社会に貢献」の下、「2050年 サステナブルなソリューションカンパニーとして社会価値・顧客価値を持続的に提供している会社へ」をビジョンとして掲げ、その実現に向けて経営を進めています。「使命」の遂行とビジョン実現へのジャーニーの軸とベクトルとして「Bridgestone E8 Commitment」を制定し、株主をはじめとした、従業員・社会・パートナー（取引先）・お客様など、マルチステークホルダーとの適切な協働を通じて価値を創出し、サステナビリティの実現に向けてグループ全体で取り組んでいます。

社会価値・顧客価値の創造によって生み出された収益・成果について、従業員への還元や取引先への配慮など、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

記

1. 従業員への還元

当社グループは、事業戦略と連動した人財戦略の推進に取り組んでおり、事業戦略と連動した付加価値創造により、企業価値向上を図ると共に個人の成功・自信の波及を通じて、多様な人財が輝けるようになることを人財戦略の軸としています。2031年の創立100周年に向けて、変化に対応できる“強い”ブリヂストンからレジリエントな“エクセレント”ブリヂストンへの変革を加速させており、価値創造に向けては、当社のDNAであり、企業活動の基盤である「品質へのこだわり」を大切に、イノベーションと継続的改善を推進するとともに、オペレーショナルエクセレンスを追求し、グローバルで経営・業務品質向上に取り組んでいます。その実現には、変革の原動力である「人財」一人ひとりの生産性・創造性（人的創造性）の向上が不可欠であると考えています。付加価値の最大化、生産性・創造性の向上に向けて、持続的な成長を図る様々な取り組みを進めています。賃金の引上げを含む労働条件の向上や、自ら挑戦・成長する意欲がある人財が能力を高め、更なる価値創出につなげていくための人財育成施策[※]など、金銭報酬のみならず報酬以外の施策を組み合わせた人財投資を強化し、付加価値を上げることを目指しています。このような価値創造の好循環を生みだし、従業員のエンゲージメント向上につなげていくとともに、生産性・創造性の向上に見合った従業員への持続的な還元に取り組めます。

具体的には、賃金の引上げについて、生産性・創造性の向上を基本とした当社給与水準の市場競争力の維持確保、個々人の挑戦意欲・成長を支える人事給与制度・体系に向け、労使での対話を通じて取り組むとともに、一人ひとりの学びと挑戦の機会を拡大し、当社グループの幅広い事業領域において多様な人財が輝けるよう、人財投資を強化してまいります。

※当社創業の地である久留米へ訪問し創業者の想いやDNA、企業理念を学ぶ「創業の地研修」、個々のデジタルスキルレベルにあわせてプログラムを選び、学びに挑戦できる、幅広いデジタルレベルをカバーした「デジタル100日研修」、各業務における現場での挑戦を後押しする「現場100日チャレンジプログラム」等

2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日
【令和4年3月25日】
- ・ パートナーシップ構築宣言のURL
【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/8529-05-11-tokyo.pdf>】

3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、ステークホルダーの皆様とのコミュニケーションを通じて、ブリヂストングループやその取り組みに対する理解を促進すると共に、皆様からの意見や評価、期待などを広く収集し事業活動に活かすことで、持続的成長に向けた継続的改善を行っています。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和6年2月7日

株式会社ブリヂストン
法人名

取締役 代表執行役 Global CEO 石橋 秀一
役職・氏名（代表権を有する者）